Yahoo!ジオシティーズサービス終了のお知らせ



<u>白髪染めは古い?お風呂でながらケア</u>

自分の好きなタイミングでケアができる!時間も手間もかけない方法



榛名神社から榛名湖、ゆうす げの道

花を訪ねて三千里シリーズ第9弾

走行日:2007年8月17日

コース: 榛名神社~(車道)~榛名湖~ゆ うすげの道~~スルス峠~ヤセオネ峠

~ゆうすげ元湯~榛名神社

距離 :17km(=4里強) 累計 59里

連日40度くらいの異常な暑さが続いている。お盆で集まった家族やその友人達と、涼を求めて川遊びや高原に出掛けていたが、走るのは空いた時間見つけて山荘周辺。炎天下のランと草むしりで疲れがたまり、だるくて頭が重くて食欲がなくなっていた。

一段落したので、標高が高く涼しいところで20キロペース走をしようと思い立ち、車で榛名神社に向かった。ここまで登ってくると、だいぶ暑さも和らいでいる。

車を置いたのが一見土産屋の駐車場なので公共の無料駐車場だということを何回も確認。(無駄な買い物したくないからね)スタートは16:04。さっさと走らないと日が暮れる。榛名神社から榛名湖へはヘアピンの急な登りが続き、GPSを見ると時速5キロ。ペース走のつもりが、これじゃ歩きだ。(右は榛名神社付近の写真。次の行は榛名湖の写真)







16:43、榛名湖畔に着いた。4キロ弱に40分がかり。湖の対岸に榛名富士、ボート乗り場を見下ろす。湖を左に見て湖畔周遊道を走る。ちょっとまともなペース。ロープウェイ入り口分岐を見送り、ヤセオネ峠に向かうと、右手にユウスゲの原が広がる。そうだ、ちょうど今がシーズン。遊歩道に入っていくと、きれいに黄色い花が咲いていた。木道をユウスゲ鑑賞しながら散策。(次の行左、ユウスゲの写真。右、榛名富士を上下するロープウェイの写真)

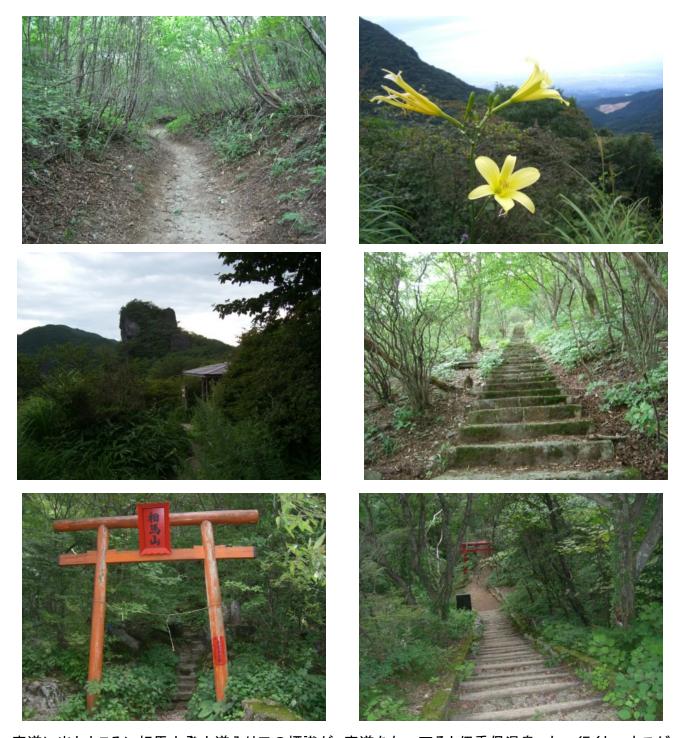




相馬山を正面に、木道をはずれまで歩くと、車道に合流せず藪の中に入ってしまった。これはちょっとの区間で、まもなく首都圏自然歩道の山道に合流。木陰の気持ちいい道だ。下界が見晴らせるところもあり、楽しいコース。この道にもユウスゲが咲いている。鞍部ごしに奇妙な形のスルス岩を眺め、そろそろ車道に下れるかなと思うと、石や丸太の階段登り。当然走れずハイキングが続く。赤い鳥居をくぐると相馬山への細い登り道がある。でもここは左折、急な階段をおりるとそちらにも赤い鳥居。まもなく車道に出た。(次の4行、ハイキングコースの写真)







車道に出たところに相馬山登山道入り口の標識が。車道を右へ下ると伊香保温泉、左へ行くとユウスゲの原に戻れる。左に少し戻ると、榛名湖温泉への車道が分岐した。車道といっても車が少なく、森林浴コースだ。いつもは静かだが、今日はオートキャンプ場や林間学校の泊り客の声が賑やか。(次の行写真)





榛名湖温泉には町営のゆうすげ元湯、レイクサイドゆうすげが並ぶ。こんなきれいなところで温泉もあるのに、栃木県の那須や塩原、長野県の白樺湖のような大観光地と比べ、質素なもんだ。だから良いのだけど。





榛名湖温泉から湖の北岸を走る。湖畔との間の林はキャンプ場。群馬沖縄伴走交流会で泊まった榛名吾妻荘の前を通り、湖畔の宿公園下に。(次の行写真)





みやげやが並ぶあたりについたが、もう18時、静かだ。2周するはずだったけど、途中がハイキングモードだったので時間切れ。4キロ弱の榛名神社への道、帰りは下り。外輪山、榛名富士から相馬山を湖とは裏側から見ながら車に戻った。走歩行距離17キロ。

速乾性ウェアが汗臭くてどうしようもない。途中右折し、倉渕におりて相間川温泉に入って着替え、高崎で食事して帰った。





ペース走の予定だったのにハイキングになってしまったが、きれいなユウスゲを楽しめて満足。

<u>からっ風にふかれてぶーらぶらTOPへ</u> <u>花を訪ねて三千里TOPへ</u> <u>からっ風の丘からHOME</u> <u>旅がらすの乱RUN欄</u>

(本文ここまで。以下ゆうすげの原遊歩道の景色と花の写真10枚。)









